



西宝橋仮設工事始まる



国道 171 号線付け替え工事？（西宝橋右岸下流方向）



⑥-樹高:11m 幹周:1.6m

⑦-樹高:11m 幹周:2.6m

仁川合流点下流側堤防補強工事前



補強工事で松が伐採された。(相当な配慮の跡が偲ばれる)



南部橋の杭打ちが始まった



南部橋右岸基部の工事現場

青葉台地区で大規模な瀬変え工事が進み、国道 171 号線付け替え工事・西宝架け替え工事・河川改修工事が同時並行で進んでいる。当初青葉台地区のセットバックが検討されていたかに記憶しているが、セットバック工事は行われない模様で西宝橋仮設工事に伴い右岸基部の樹木が一部伐採された以外何の変化もなかった。西宝橋から工事の様子を見る人に声掛けたが、シラートとして無反応、南部橋で出会った人とは異なる反応で「なんかあったのか？」という印象を受けた。工事後の景観は驚くほど変わってしまいそう。仁川付近の堤防強化工事で堤防の裏面の松が何本か伐採されたが、ギリギリのところでは伐採を免れた松も見られ、相当気を遣った工事が行われたように感じられる。ここを訪れる人は伐採されたことさえ気づかぬ風で伐採前後の写真を見比べてやっと気付く程度の影響しかない。切られた松の年輪は約 50 年で、かつて下流で伐採された松の年輪が 80 年だったことから、武庫川の松の樹齢は 100~50 年と推測出来る。甲武橋下流側の堆積土砂掘削工事は申し訳程度の工事で素人目線では効果を疑いたくなる。

南部橋のドライエリア矢板(長さ 21 m) 打ちは終わり、ドライエリア内で杭打設が始まり大型機械が黙々と働く。

